



第57期 中間報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日



石光商事株式会社

証券コード:2750

株主の皆様へ



石光会長



森本社長

株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別の支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第57期中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の営業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めるとともに収益力を強化し企業業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

代表取締役会長 **石光 輝男**
代表取締役社長 **森本 茂**

営業の概況

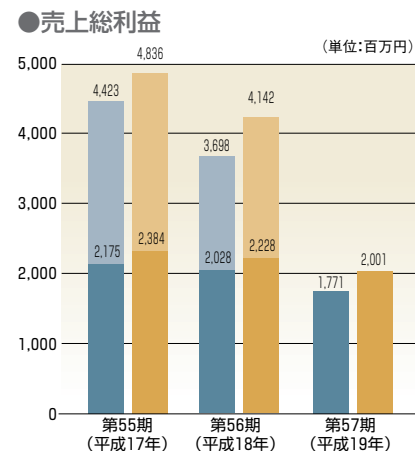
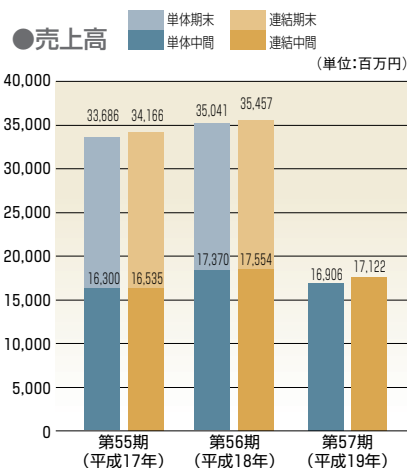
当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景として設備投資が増加し、雇用情勢の改善の広がりなどから個人消費が緩やかに増加するなど景気回復基調で推移いたしました。しかしながら、原油価格の高騰を始めとする素材価格の上昇が続いており、企業収益に与える影響が懸念されております。

当社グループの主力マーケットである飲料・食品業界におきましても、競争激化による低価格化の持続により売上が伸び悩む中で、食に対する安全・安心がますます

求められております。

このような状況のもと、当社は顧客ニーズを迅速・的確に反映した高品質で安全な商品開発と積極的な提案営業活動を行い、新商品を飲料・食品マーケットに提供してまいりました。また、研究開発室の検査機能・品質保証体制の強化をはかるとともに、海外農水産物の生産・加工指導を徹底し、従来にも増して安全で安心な商品の開発輸入に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は171億22百万円(前年同期比2.5%減)と減少いたしま



キャッシュ・フローの状況

した。原料高や円安によるコスト上昇分の飲料製品及び輸入食品の販売価格への一部転嫁遅れや、飲料・食品業界の競争激化による利益率低下により、営業利益は58百万円(前年同期比79.1%減)、経常利益は1億20百万円(前年同期比89.0%減)となりましたが、未払金戻入益1億50百万円を特別利益として計上した結果、中間純利益は1億72百万円(前年同期比74.6%減)となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は3億22百万円(前中間連結会計期間は7億45百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純利益2億81百万円及び仕入債務の増加額11億18百万円等に対し、売上債権の増加額2億48百万円及びたな卸資産の増加額7億89百万円と法人税等の支払額5億64百万円等によるものであります。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

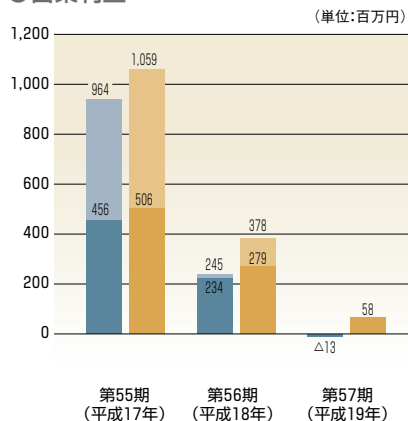
投資活動の結果使用した資金は82百万円(前中間連結会計期間は18百

万円の収入)となりました。これは、固定資産の取得による支出52百万円及び貸付金による支出23百万円等によるものであります。

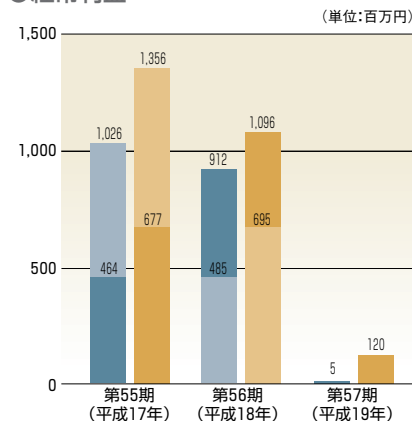
●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は4億2百万円(前中間連結会計期間は9億72百万円の使用)となりました。これは、短期及び長期借入金の収支による収入6億6百万円と、配当金の支払額1億98百万円等によるものであります。

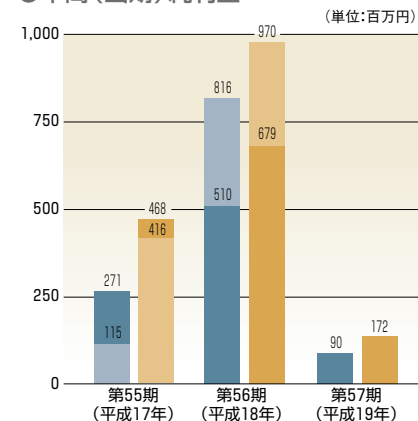
●営業利益



●経常利益

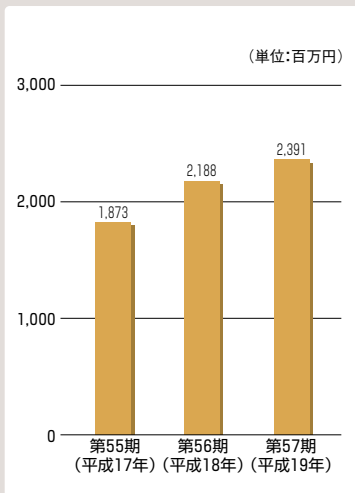


●中間(当期)純利益

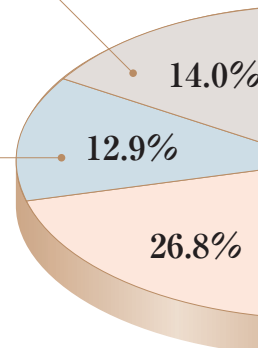


商品別概況

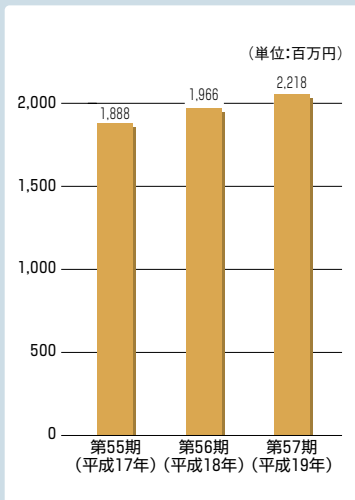
■コーヒー生豆



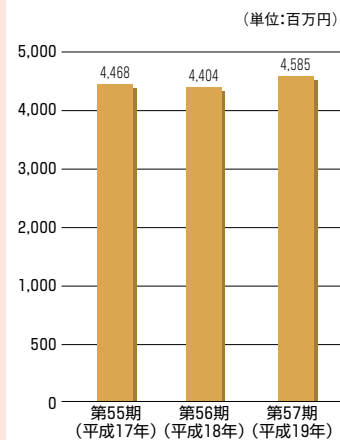
主力商品のコーヒー生豆のニューヨーク市場(コーヒー生豆相場期近銘柄)の価格(終値ベース)は、期初の109.45セント/ポンドから始まり、4月下旬には112.90セントまで上がりましたが、7月には94.05セントまで下がり、期末は107.65セント/ポンドで終了いたしました。このような状況のもと、コーヒー生豆の販売数量は若干減少しましたが、一昨年11月からの高騰した相場の影響により平均販売単価が上昇したため、売上高は23億91百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

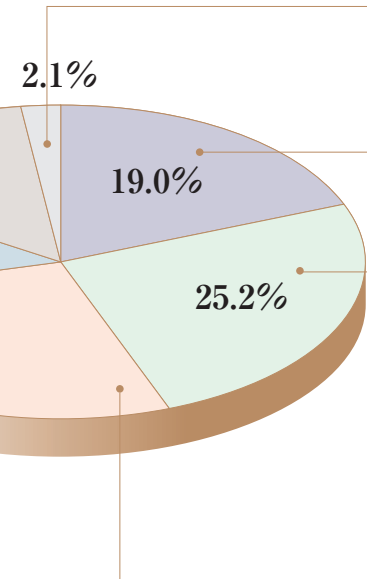


■飲料製品および原料



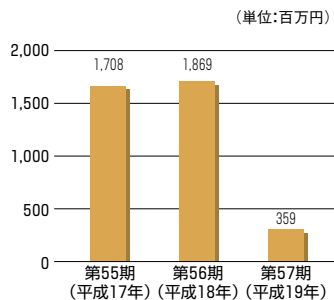
レギュラーコーヒーの売上高は、メーカーOEMの袋入製品が減少したものの、量販店OEMのコーヒーバッグが大幅に増加したため、前年同期比13.3%の増加となりました。インスタントコーヒーの売上高は、バルク商品が減少したものの、家庭用商品が増加したため、前年同期比微増となりました。茶類その他の売上高は、原料用の紅茶が増加したため、前年同期比16.0%の増加となりました。その結果、飲料製品及び原料の売上高は22億18百万円(前年同期比12.8%増)となりました。





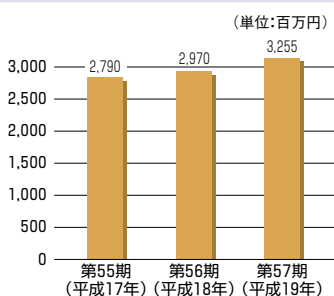
■常温食品

輸入食品及び自社ブランド商品の売上高は、野菜缶詰が減少しましたものの、イタリア食品（パスタ・オリーブオイル・ホールトマト）の増加により、前年同期比8.5%増加しました。国内メーカー商品はユーザー向けPB商品等の減少により、前年同期比5.7%減少しました。食品の輸出売上高は東南アジア向けを中心に37.5%増加しました。その結果、常温食品の売上高は45億85百万円（前年同期比4.1%増）となりました。



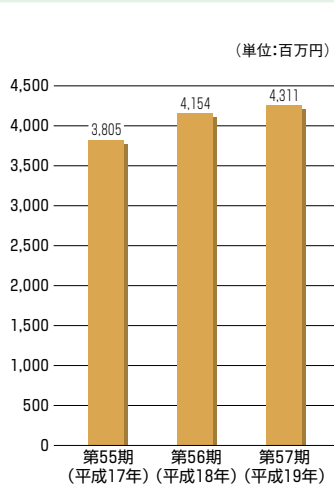
■その他

機械設備の売上高はコーヒー粉砕抽出設備の新規売上により増加しましたが、業務用コーヒー関連器具・備品の売上高は、販売先の需要減により引き続き減少いたしました。機械・機器の輸出は大口取引先との契約がなかったことにより大幅に減少いたしました。また、当期からは繊維製品の取り扱いを取り止めました。その結果、その他の売上高は3億59百万円（前年同期比80.8%減）となりました。



■食品原料

食品原料の売上高は、小豆加工品が減少したものの、生鮮野菜、塩蔵野菜、栗原料・栗甘露煮製品及びトマト加工品が増加いたしました。その結果、食品原料の売上高は32億55百万円（前年同期比9.6%増）となりました。



■冷凍食品

輸入冷凍水産加工品の売上高はタコやイカの増加により、前年同期比5.6%増加しました。輸入調理加工品の売上高は商品アイテム数の増加や販路の拡大により、前年同期比38.2%増加しました。国内メーカー商品はユーザー向けPB商品の減少により前年同期比7.7%減少しました。その結果、冷凍食品の売上高は43億11百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

中間連結財務諸表 要旨

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成17年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,294	11,067
固定資産	6,293	6,210
有形固定資産	2,655	2,714
無形固定資産	14	13
投資その他の資産	3,622	3,482
資産合計	18,588	17,278
(負債の部)		
流動負債	8,340	7,236
固定負債	2,311	2,442
負債合計	10,652	9,679
少数株主持分	—	187
(資本の部)		
資本金	—	623
資本剰余金	—	357
利益剰余金	—	6,366
その他有価証券評価差額金	—	69
自己株式	—	△4
資本合計	—	7,411
負債、少数株主持分及び資本合計	—	17,278
(純資産の部)		
株主資本	7,605	—
資本金	623	—
資本剰余金	357	—
利益剰余金	6,629	—
自己株式	△4	—
評価・換算差額等	128	—
その他有価証券評価差額金	105	—
繰延ヘッジ損益	23	—
少数株主持分	202	—
純資産合計	7,935	—
負債・純資産合計	18,588	—

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間連結会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)
売上高	17,122	17,554
売上原価	15,120	15,326
売上総利益	2,001	2,228
販売費及び一般管理費	1,942	1,948
営業利益	58	279
営業外収益	114	873
営業外費用	52	57
経常利益	120	1,096
特別利益	161	18
特別損失	0	56
税金等調整前中間純利益	281	1,058
法人税、住民税及び事業税	69	406
法人税等調整額	29	△31
少数株主利益	9	3
中間純利益	172	679

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間連結会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△322	745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	402	△972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	12
現金及び現金同等物の増減額	△19	△196
現金及び現金同等物の期首残高	1,599	1,716
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,580	1,520

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間 (自平成18年4月1日至平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	623	357	6,657	△4	7,632	109	—	109	201	7,943
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当 (注)2			△199		△199					△199
役員賞与 (注)2			△0		△0					△0
中間純利益			172		172					172
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)						△4	23	19	1	20
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△27	△0	△27	△4	23	19	1	△7
平成18年9月30日残高	623	357	6,629	△4	7,605	105	23	128	202	7,935

(注)1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2.平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

中間財務諸表(単体) 要旨

中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成17年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,005	10,859
固定資産	3,590	3,559
有形固定資産	2,170	2,229
無形固定資産	10	12
投資その他の資産	1,409	1,316
資産合計	15,596	14,418
(負債の部)		
流動負債	8,318	7,242
固定負債	2,215	2,345
負債合計	10,533	9,588
(資本の部)		
資本金	—	623
資本剰余金	—	357
利益剰余金	—	3,803
その他有価証券評価差額金	—	50
自己株式	—	△4
資本合計	—	4,829
負債・資本合計	—	14,418
(純資産の部)		
株主資本	4,976	—
資本金	623	—
資本剰余金	357	—
利益剰余金	4,000	—
自己株式	△4	—
評価・換算差額等	86	—
その他有価証券評価差額金	63	—
繰延ヘッジ損益	23	—
純資産合計	5,063	—
負債・純資産合計	15,596	—

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)
売上高	16,906	17,370
売上原価	15,135	15,341
売上総利益	1,771	2,028
販売費及び一般管理費	1,785	1,793
営業利益又は営業損失(△)	△13	234
営業外収益	72	736
営業外費用	53	58
経常利益	5	912
特別利益	159	18
特別損失	0	56
税引前中間純利益	165	874
法人税、住民税及び事業税	39	397
法人税等調整額	35	△32
中間純利益	90	510
前期繰越利益	—	161
中間未処分利益	—	671

中間株主資本等変動計算書 当中間会計期間（自平成18年4月1日至平成18年9月30日）

（単位:百万円）

	株主資本										
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金					自己株式	株主資本 合計
		資本 準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金						
					配当準備 積立金	固定資産圧縮 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
平成18年3月31日残高	623	357	357	84	42	605	2,400	977	4,109	△4	5,085
中間会計期間中の変動額											
固定資産圧縮積立金の取崩し						△14		14	—		—
別途積立金の積立							500	△500	—		—
剰余金の配当								△199	△199		△199
中間純利益								90	90		90
自己株式の取得										△0	△0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額（純額）											
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	△14	500	△594	△108	△0	△108
平成18年9月30日残高	623	357	357	84	42	590	2,900	383	4,000	△4	4,976

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他の有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額 等合計	
平成18年3月31日残高	67	—	67	5,152
中間会計期間中の変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩し				—
別途積立金の積立				—
剰余金の配当				△199
中間純利益				90
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額（純額）	△3	23	19	19
中間会計期間中の変動額合計	△3	23	19	△89
平成18年9月30日残高	63	23	86	5,063

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

平成18年9月末現在

会社の概要

会社設立 昭和26年5月
会社名 石光商事株式会社
資本金 62,320万円
本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
従業員数 170名

役員

代表取締役会長 石光 輝男
代表取締役副会長 駒澤 啓之
代表取締役社長 森本 茂
専務取締役 中西 繁
専務取締役 草場 鉄郎
常務取締役 久保 潤一
取締役 内田 十司夫
取締役 北川 誠
取締役 山口 啓介
取締役 市橋 理幸
常勤監査役 入江 和義
監査役 植松 尚三
監査役 樋口 進二

株式の状況

- ①発行可能株式総数 22,400,000株
②発行済株式総数 8,000,000株
③中間期末株主数 6,917名
④大株主

株主名	所有株式数	議決権比率
石光 輝男	398,090 株	4.97 %
三菱商事(株)	378,370	4.72
石光商事従業員持株会	373,060	4.66
(株)三井住友銀行	252,640	3.15
駒澤 啓之	210,600	2.63
日米珈琲(株)	204,000	2.55
竹田 和平	200,000	2.50
丸紅(株)	192,270	2.40
三井物産(株)	178,000	2.22
石光 百合	167,000	2.08

株式分布状況

所有者別		所有数別
13名 (0.19%)	金融機関	940,860株 (11.76%)
10名 (0.14%)	証券会社	14,248株 (0.18%)
41名 (0.59%)	その他の法人	1,335,670株 (16.69%)
4名 (0.06%)	外国法人等	38,100株 (0.48%)
6,849名 (99.02%)	個人・その他	5,671,122株 (70.89%)
6,917名 (100.00%)	合計	8,000,000株 (100.00%)

グループ情報

- 当 社 … 当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーンに販売しております。
- シ ー カ フ ェ ー(株) … 当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。
- ユ ー エ ス フ ーズ(株) … コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。
- キ ン グ 珈 琲(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを常温食品及び冷凍食品とともに業務用として喫茶店等に販売しております。
- 岩 屋 サ ー ビ ス(株) … 関西地区における当社の運送業務を行っております。
- 関西アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎し、当社が販売するレギュラーコーヒーの製造・加工受託を行っております。
- 東京アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを飲料メーカー及び量販店等に販売しております。

〈事業所〉

●本	社	神戸市灘区岩屋南町4-40
●東	支	東京都大田区山王1-4-6
●福	支	福岡市博多区堅粕3-13-13
●名	支	名古屋市北区五反田町91
●札	支	札幌市豊平区美園一条6-1-31
●物	支	大阪市西淀川区福町1-2-24



本社



S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

株主メモ

定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当受領株主確定日 期末配当金 3月31日
(剰余金の配当をする場合) 中間配当金 9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒541-8502
(お問い合わせ先) 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話0120-094-777(通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村証券株式会社 全国本支店
○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
ホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
公 告 方 法 電子公告
<http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html>